

【 調査結果の概要 】

1 発育状態

(1) 身長・体重・座高の県平均値

平成23年度の児童等の身長・体重・座高の年齢別県平均値は、表-1のとおりである。

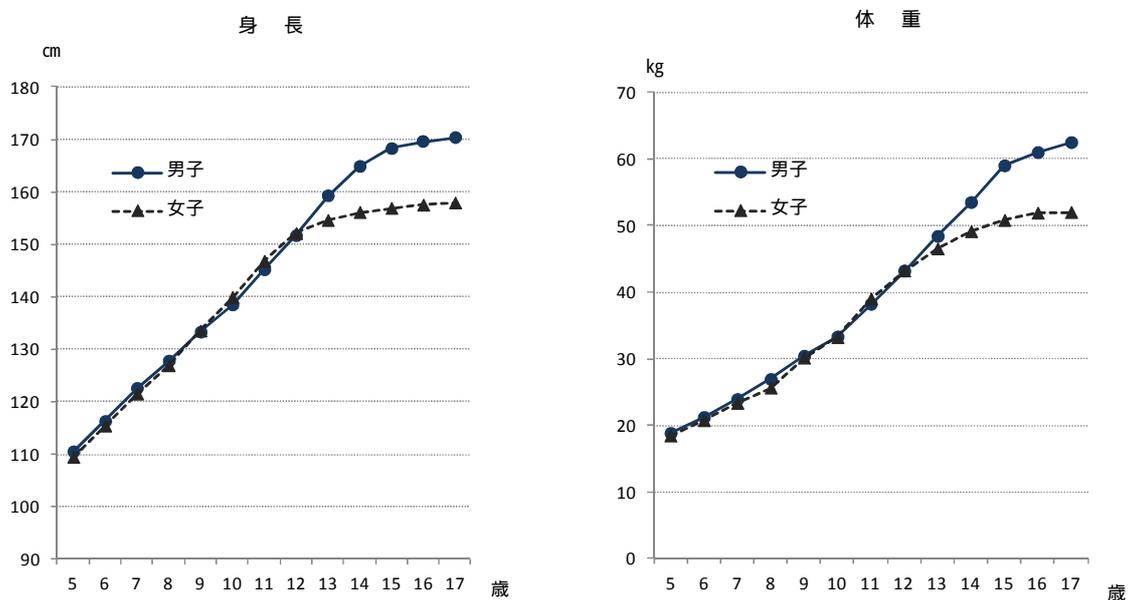
男女を比較すると、身長は9～12歳で女子が男子を上回っている。この年齢を過ぎると、身長・体重ともに男子が女子を上回り、17歳でその差は最も大きくなっている。（身長差12.5cm、体重差10.5kg）

（表-1、図-1）

表-1 身長・体重・座高の年齢別県平均値

区 分		男 子			女 子		
		身長(cm)	体重(kg)	座高(cm)	身長(cm)	体重(kg)	座高(cm)
幼稚園	5 (歳)	110.5	18.8	62.1	109.4	18.4	61.5
小学校	6	116.3	21.2	64.7	115.4	20.7	64.4
	7	122.6	23.9	67.6	121.5	23.3	67.1
	8	127.8	26.9	70.0	126.9	25.6	69.6
	9	133.3	30.4	72.5	133.5	30.1	72.8
	10	138.5	33.3	74.8	139.9	33.2	75.7
	11	145.2	38.2	77.7	146.8	39.0	79.3
中学校	12	151.7	43.2	80.9	152.1	43.2	82.1
	13	159.3	48.4	84.6	154.6	46.5	83.5
	14	164.9	53.5	88.0	156.1	49.1	84.7
高等学校	15	168.3	59.0	90.2	156.9	50.8	85.2
	16	169.5	61.0	90.9	157.5	51.9	85.4
	17	170.4	62.5	91.5	157.9	52.0	85.5

図-1 身長・体重の年齢別県平均値



(2) 30年前(昭和56年度)との比較

平成23年度の児童等の発育状態の県平均値を30年前(昭和56年度)の親世代と比較すると、身長・体重は男子が全ての年齢で、女子は15歳を除いた年齢で親世代を上回った。親世代との差が最も大きいのは、身長では男子が12歳(2.9cm)、女子は10歳(2.5cm)、体重では男子が12歳(3.1kg)、女子は11歳(2.5kg)であった。

また、身長に占める足の長さ(身長から座高を引いたもの)の割合を親世代と比較すると、男子は14~17歳で、女子は11・14~17歳で、親世代より割合が小さくなっている。

(表-2、図-2、表-3)

表-2 身長・体重・座高の県平均値(30年前との比較)

区 分	身 長 (cm)			体 重 (kg)			座 高 (cm)				
	平成23年度 (a)	昭和56年度 (b)	差 (a-b)	平成23年度 (a)	昭和56年度 (b)	差 (a-b)	平成23年度 (a)	昭和56年度 (b)	差 (a-b)		
男	幼稚園 5(歳)	110.5	109.8	0.7	18.8	18.8	0.0	62.1	62.3	0.2	
	小学校	6	116.3	115.3	1.0	21.2	20.5	0.7	64.7	64.7	0.0
		7	122.6	121.0	1.6	23.9	22.9	1.0	67.6	67.2	0.4
		8	127.8	126.5	1.3	26.9	25.5	1.4	70.0	69.7	0.3
		9	133.3	131.5	1.8	30.4	28.4	2.0	72.5	71.8	0.7
		10	138.5	136.7	1.8	33.3	32.0	1.3	74.8	74.1	0.7
		11	145.2	143.0	2.2	38.2	35.8	2.4	77.7	76.8	0.9
	中学校	12	151.7	148.8	2.9	43.2	40.1	3.1	80.9	79.4	1.5
		13	159.3	157.0	2.3	48.4	45.8	2.6	84.6	83.3	1.3
		14	164.9	162.4	2.5	53.5	51.3	2.2	88.0	86.2	1.8
		高等学校	15	168.3	167.2	1.1	59.0	56.2	2.8	90.2	89.0
16			169.5	168.7	0.8	61.0	58.4	2.6	90.9	89.9	1.0
17			170.4	169.9	0.5	62.5	59.8	2.7	91.5	90.6	0.9
女	幼稚園 5(歳)	109.4	108.8	0.6	18.4	18.2	0.2	61.5	61.7	0.2	
	小学校	6	115.4	115.1	0.3	20.7	20.3	0.4	64.4	64.5	0.1
		7	121.5	120.3	1.2	23.3	22.6	0.7	67.1	67.0	0.1
		8	126.9	126.0	0.9	25.6	25.1	0.5	69.6	69.4	0.2
		9	133.5	131.3	2.2	30.1	28.2	1.9	72.8	71.7	1.1
		10	139.9	137.4	2.5	33.2	31.9	1.3	75.7	74.6	1.1
		11	146.8	144.6	2.2	39.0	36.5	2.5	79.3	78.0	1.3
	中学校	12	152.1	150.4	1.7	43.2	41.4	1.8	82.1	81.3	0.8
		13	154.6	153.8	0.8	46.5	45.8	0.7	83.5	83.1	0.4
		14	156.1	155.9	0.2	49.1	48.8	0.3	84.7	84.1	0.6
		高等学校	15	156.9	157.0	0.1	50.8	51.6	0.8	85.2	85.1
16			157.5	156.8	0.7	51.9	51.6	0.3	85.4	84.8	0.6
17			157.9	157.1	0.8	52.0	51.7	0.3	85.5	84.6	0.9

注意) 網掛け部分は、男女別に差が最大の数値を示す。

図 - 2 身長・体重（県平均値）の30年前の親世代との差

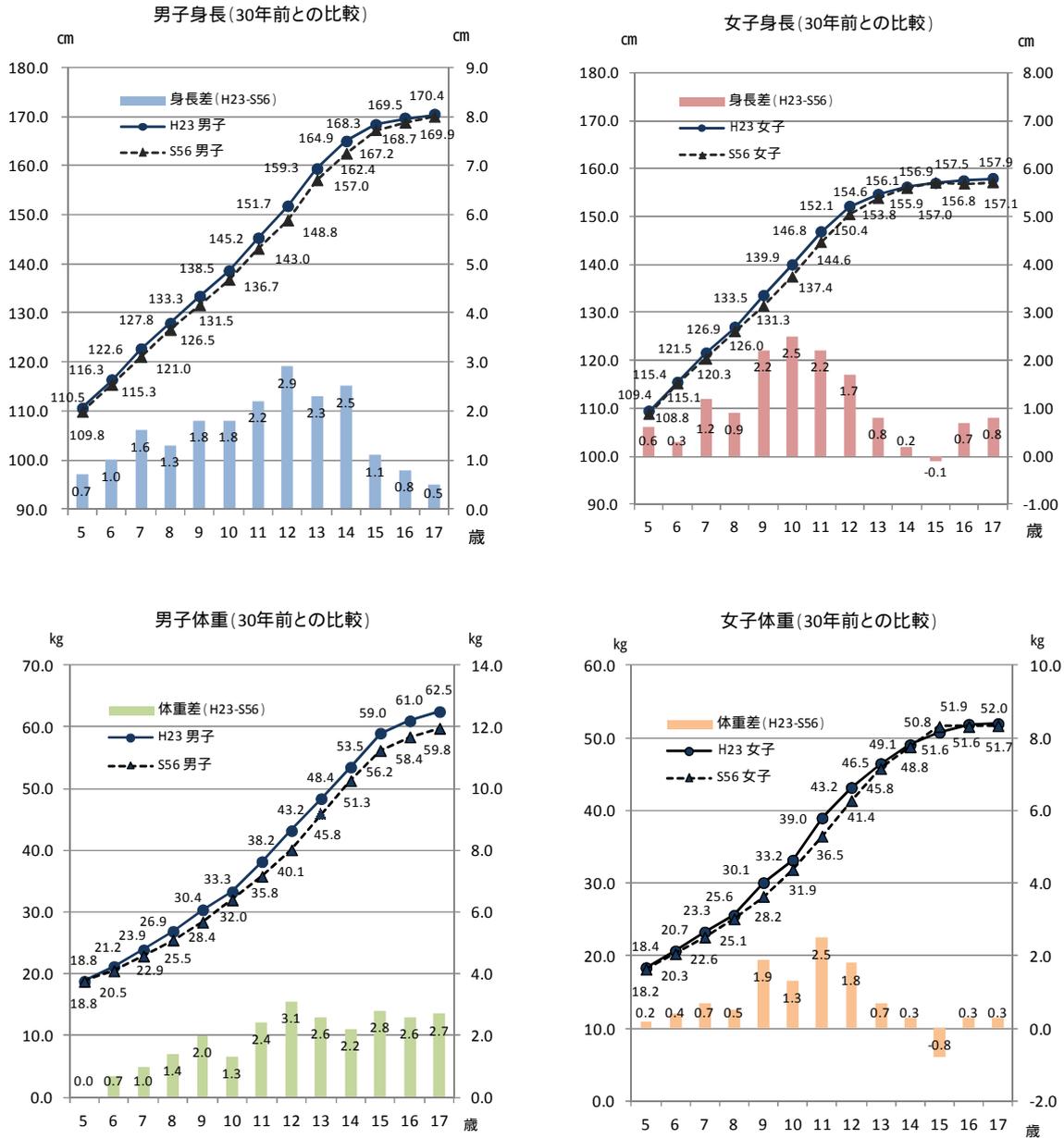


表 - 3 身長に占める足の長さの割合（親世代との比較）

区分		幼稚園	小学校					中学校			高等学校			
		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男	平成23年度(a)	43.8	44.4	44.9	45.2	45.6	46.0	46.5	46.7	46.9	46.6	46.4	46.4	46.3
	昭和56年度(b)	43.3	43.9	44.5	44.9	45.4	45.8	46.3	46.6	46.9	46.9	46.8	46.7	46.7
	差(a-b)	0.5	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.3	0.4	0.3	0.4
女	平成23年度(a)	43.8	44.2	44.8	45.2	45.5	45.9	46.0	46.0	46.0	45.7	45.7	45.8	45.9
	昭和56年度(b)	43.3	44.0	44.3	44.9	45.4	45.7	46.1	45.9	46.0	46.1	45.8	45.9	46.1
	差(a-b)	0.5	0.2	0.5	0.3	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.4	0.1	0.1	0.2

注意) 身長に占める足の長さの割合 = (身長 - 座高) / 身長 × 100

(3) 全国比較

身長は男子が11歳で、女子が11・12歳で全国平均を上回ったが、その他の年齢では全国平均と同じか下回った。体重は男子・女子共に9・11歳で全国平均を上回ったが、その他の年齢では全国平均を下回った。

(図 - 3、表 - 4)

図 - 3 身長・体重(県平均値)の全国平均との差

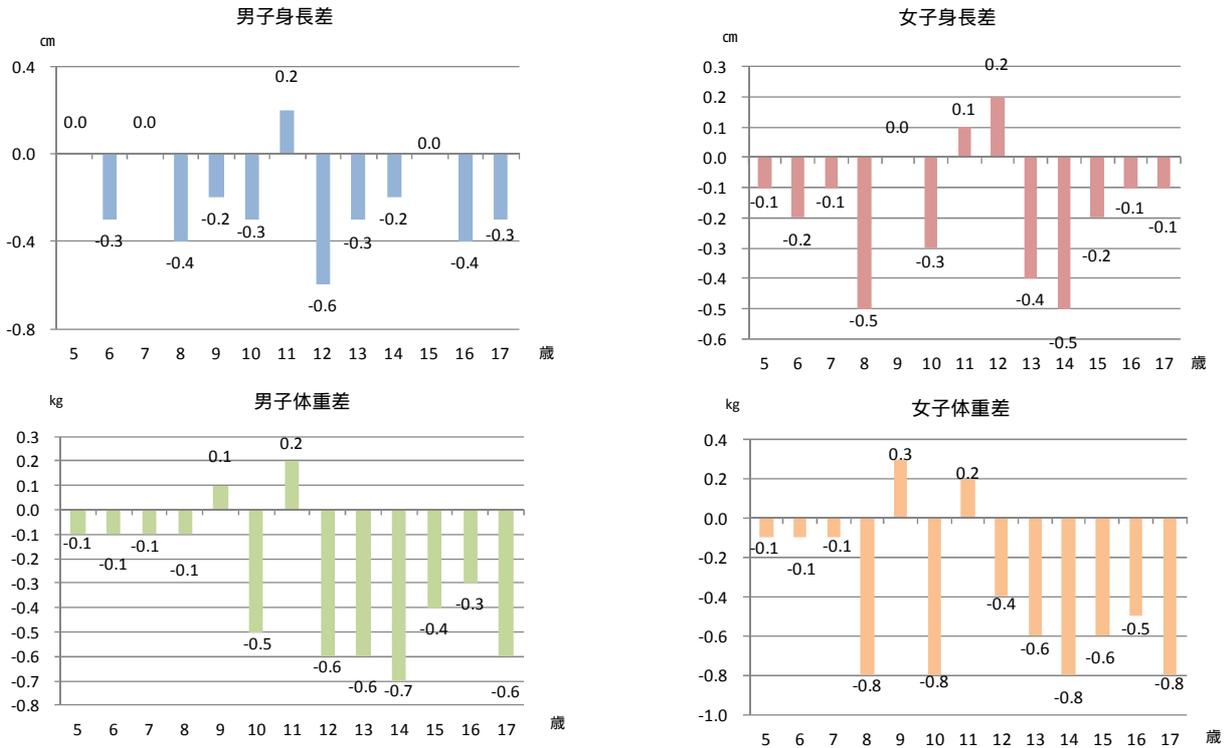


表 - 4 身長・体重・座高の全国平均との比較

区分	身長 (cm)			体重 (kg)			座高 (cm)				
	岐阜県	全国	差	岐阜県	全国	差	岐阜県	全国	差		
男子	幼稚園 5 (歳)	110.5	110.5	0.0	18.8	18.9	0.1	62.1	62.0	0.1	
	小学校	6	116.3	116.6	0.3	21.2	21.3	0.1	64.7	64.9	0.2
		7	122.6	122.6	0.0	23.9	24.0	0.1	67.6	67.7	0.1
		8	127.8	128.2	0.4	26.9	27.0	0.1	70.0	70.2	0.2
		9	133.3	133.5	0.2	30.4	30.3	0.1	72.5	72.6	0.1
		10	138.5	138.8	0.3	33.3	33.8	0.5	74.8	74.9	0.1
		11	145.2	145.0	0.2	38.2	38.0	0.2	77.7	77.6	0.1
	中学校	12	151.7	152.3	0.6	43.2	43.8	0.6	80.9	81.2	0.3
		13	159.3	159.6	0.3	48.4	49.0	0.6	84.6	84.9	0.3
		14	164.9	165.1	0.2	53.5	54.2	0.7	88.0	88.1	0.1
		高等学校	15	168.3	168.3	0.0	59.0	59.4	0.4	90.2	90.3
16			169.5	169.9	0.4	61.0	61.3	0.3	90.9	91.3	0.4
17			170.4	170.7	0.3	62.5	63.1	0.6	91.5	91.9	0.4
女子	幼稚園 5 (歳)	109.4	109.5	0.1	18.4	18.5	0.1	61.5	61.4	0.1	
	小学校	6	115.4	115.6	0.2	20.7	20.8	0.1	64.4	64.4	0.0
		7	121.5	121.6	0.1	23.3	23.4	0.1	67.1	67.2	0.1
		8	126.9	127.4	0.5	25.6	26.4	0.8	69.6	69.9	0.3
		9	133.5	133.5	0.0	30.1	29.8	0.3	72.8	72.7	0.1
		10	139.9	140.2	0.3	33.2	34.0	0.8	75.7	75.9	0.2
		11	146.8	146.7	0.1	39.0	38.8	0.2	79.3	79.2	0.1
	中学校	12	152.1	151.9	0.2	43.2	43.6	0.4	82.1	82.1	0.0
		13	154.6	155.0	0.4	46.5	47.1	0.6	83.5	83.9	0.4
		14	156.1	156.6	0.5	49.1	49.9	0.8	84.7	84.9	0.2
		高等学校	15	156.9	157.1	0.2	50.8	51.4	0.6	85.2	85.4
16			157.5	157.6	0.1	51.9	52.4	0.5	85.4	85.6	0.2
17	157.9		158.0	0.1	52.0	52.8	0.8	85.5	85.8	0.3	

注意) 網掛け部分は、男女別に差が最大の数値を示す。

表 - 5 17歳男女の身長・体重・座高の全国順位

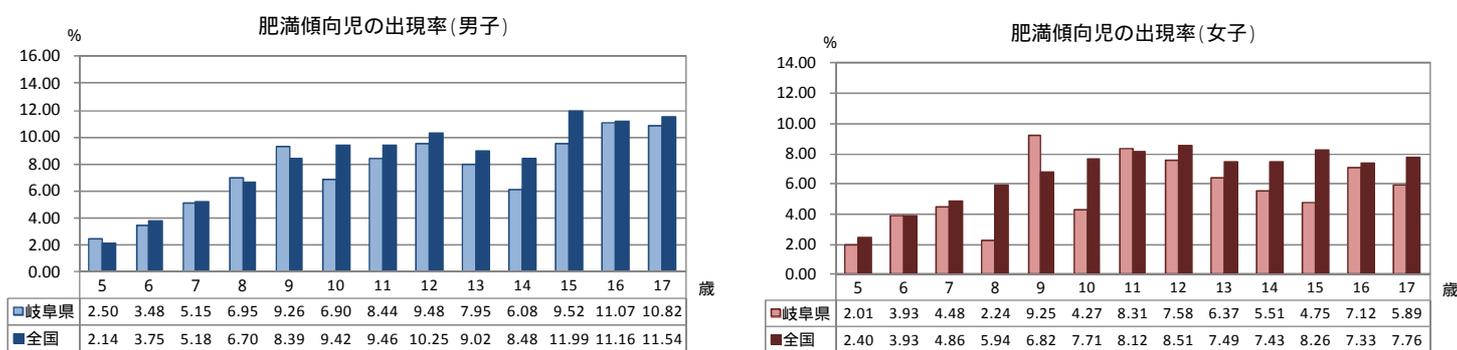
(4) 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

肥満傾向児の出現率は、男子が16歳(11.07%)、女子が9歳(9.25%)で最も高くなっている。全国平均と比較すると、男子は6・7・10～17歳で、女子は5～8・10・12～17歳で全国平均と同じか下回った。

痩身傾向児の出現率は、男子が10歳(3.07%)、女子が12歳(5.06%)で最も高くなっている。全国平均と比較すると、男子は6・8・9・11・12・14・15歳で、女子は5・7・10・11・13・15～17歳で全国平均を下回った。

(図 - 4)

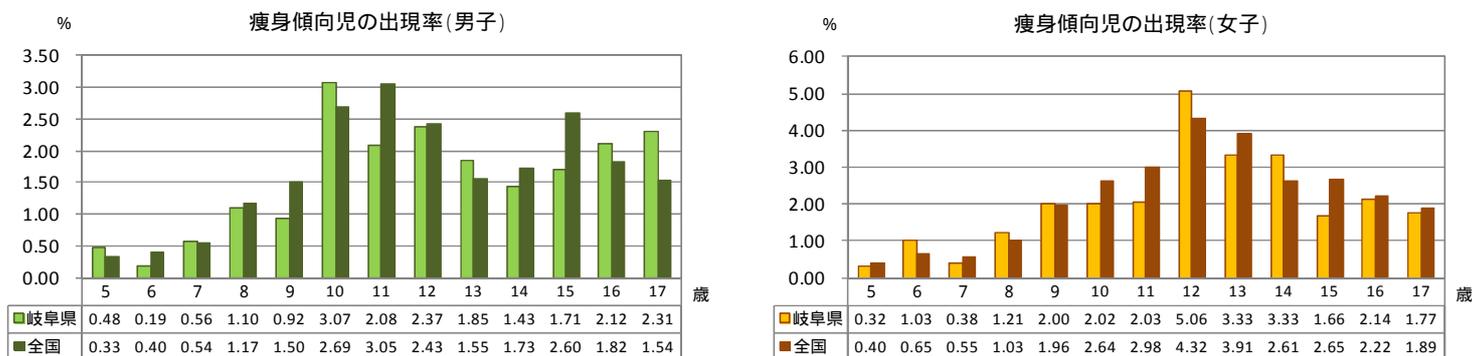
図 - 4 (a) 肥満傾向児の出現率



注意) 肥満傾向児：性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、この肥満度が20%以上の者

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100(\%)$$

図 - 4 (b) 痩身傾向児の出現率



注意) 痩身傾向児：性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、この肥満度が20%以下の者

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100(\%)$$

2 健康状態

(1) 疾病・異常の被患率

平成23年度の児童等の疾病・異常の被患率は、幼稚園・小学校では「むし歯(う歯)」が最も高く、中学校・高等学校では「裸眼視力1.0未満の者」が最も高くなっている。

「むし歯(う歯)」のある者(処置完了者を含む)の割合を年齢別にみると、8歳が63.1%と最も高く、8歳以上の年齢でむし歯の処置完了者が未処置歯のある者の割合を上回っている。

また、12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数は、全国平均の1.2本より少ない1.0本となっている。

(表 - 6、図 - 5、表 - 7)

表 - 6 主な疾病・異常被患率

順位	幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
	区分	%	区分	%	区分	%	区分	%
1	むし歯(う歯)	38.7	むし歯(う歯)	56.6	裸眼視力1.0未満の者	53.0	裸眼視力1.0未満の者	65.3
2	鼻・副鼻腔疾患	5.6	裸眼視力1.0未満の者	27.3	むし歯(う歯)	45.4	むし歯(う歯)	56.9
3	歯列・咬合	5.2	鼻・副鼻腔疾患	14.7	鼻・副鼻腔疾患	6.4	眼の疾病・異常	7.1
4	眼の疾病・異常	4.6	眼の疾病・異常	5.6	歯肉の状態	4.9	歯垢の状態	6.1
5	アトピー性皮膚炎	4.2	耳疾患	4.4	眼の疾病・異常	4.0	歯肉の状態	4.9

注意) 裸眼視力(1.0未満)の幼稚園は、サンプル数が少ないため公表していない。

図 - 5 年齢別むし歯(う歯)の者の割合等

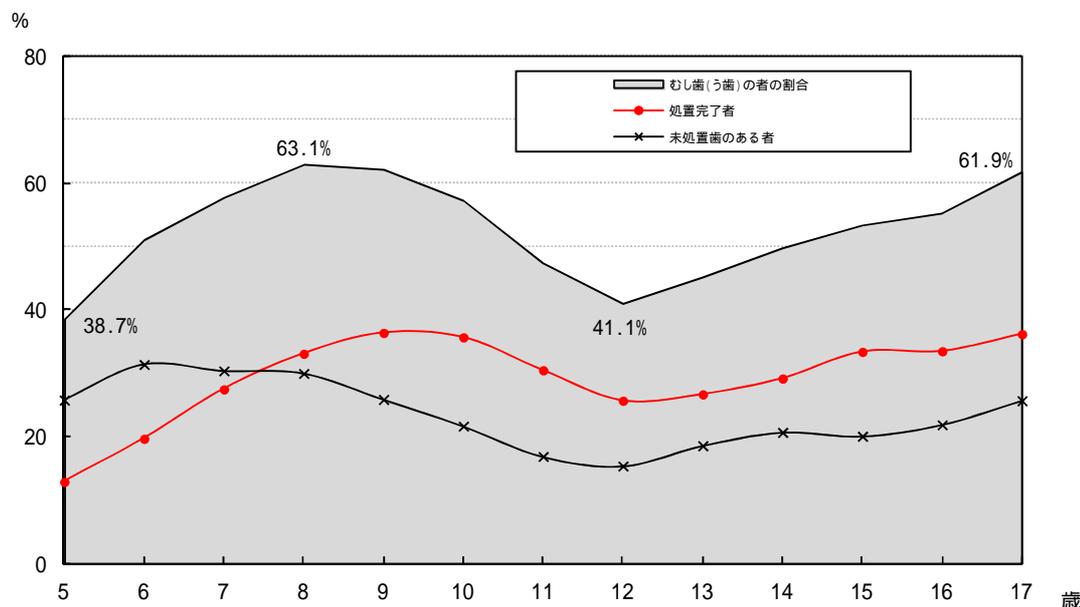


表 - 7 12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数

(単位: 本)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
岐阜県	1.4	1.2	1.2	1.1	0.9	1.0
全国	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2

注意) むし歯(う歯)等数には、喪失歯及び処置歯を含む。

(2) 全国比較

疾病・異常の被患率を全国平均と比較すると、「むし歯(う歯)」の被患率については、幼稚園が4.3ポイント、小学校が0.6ポイント、中学校が2.9ポイント、高等学校が1.6ポイントと全ての学校区分で全国平均を下回り、同じく「ぜん息」の被患率も、幼稚園が1.4ポイント、小学校が1.9ポイント、中学校が1.2ポイント、高等学校が0.8ポイントと全ての学校区分で全国平均を下回った。

一方、「鼻・副鼻腔疾患」の被患率では、幼稚園が1.2ポイント、小学校が2.2ポイント全国平均を上回り、中学校が5.4ポイント、高等学校が5.3ポイント全国平均を下回った。

また、「アトピー性皮膚炎」の被患率では、幼稚園が1.3ポイント全国平均を上回り、小学校が0.2ポイント、中学校及び高等学校がそれぞれ0.4ポイント全国平均を下回った。

(表 - 8、図 - 6)

表 - 8 主な疾病・異常の被患率(全国平均との比較)

(%)

区 分	幼 稚 園		小 学 校		中 学 校		高 等 学 校	
	岐阜県	全 国	岐阜県	全 国	岐阜県	全 国	岐阜県	全 国
裸眼視力1.0未満の者	x	25.5	27.3	29.9	53.0	51.6	65.3	60.9
眼の疾病・異常	4.6	1.8	5.6	5.3	4.0	5.4	7.1	3.8
耳 疾 患	2.9	2.5	4.4	5.5	2.7	3.3	1.4	1.6
鼻・副鼻腔疾患	5.6	4.4	14.7	12.5	6.4	11.8	3.5	8.8
口腔咽喉頭疾患・異常	2.7	2.4	1.6	1.5	1.1	0.8	0.1	0.6
むし歯(う歯)	38.7	43.0	56.6	57.2	45.4	48.3	56.9	58.5
歯列・咬合	5.2	2.8	4.2	4.2	3.6	4.8	2.4	4.2
顎 関 節	-	0.1	0.2	0.1	0.2	0.5	0.9	0.6
歯垢の状態	1.6	0.5	2.5	3.0	3.6	5.1	6.1	5.2
歯肉の状態	0.0	0.3	2.1	1.9	4.9	4.8	4.9	5.0
アトピー性皮膚炎	4.2	2.9	3.1	3.3	2.0	2.4	1.7	2.1
心臓の疾病・異常	0.6	0.4	1.2	0.7	1.5	0.8	0.7	0.7
心電図異常	3.4	2.5	3.5	3.4	4.4	3.1
蛋白検出の者	0.3	0.8	0.3	0.8	3.0	2.6	3.1	2.9
寄生虫卵保有者	-	0.1	0.0	0.2
ぜん息	1.4	2.8	2.4	4.3	1.6	2.8	1.1	1.9
腎臓疾患	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.4	0.2
言語障害	1.2	0.4	0.8	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0

注意 1) この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。

2) 小数点以下第2位を四捨五入している。

3) 「x」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満又は回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

4) 「0.0」は計数が単位未満の場合、「-」は該当者がいない場合、「...」は調査対象とならなかった場合を表す。

5) 心電図検査については、6歳・12歳・15歳のみ実施している。

6) 寄生虫卵検査については、5歳から8歳まで実施している。

図 - 6 むし歯(う歯)、ぜん息、鼻・副鼻腔疾患、アレルギー性皮膚炎被患率の全国平均との比較

